年　　月　　日

導入計画書

１　申請者情報

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所番号 |  |
| 事業所名 |  |
| サービス種別 |  |

２　導入事業

|  |
| --- |
| １　事業者の適格性  （該当する項目のチェックボックスをチェック） |
| 介護保険事業者として指定を受けている  　欠格事由に該当しない  　サービス提供に関する基準を満たす運営をしている |

|  |  |
| --- | --- |
| ２　プロジェクトの適切性 | |
| （１）階段昇降機導入の目的と利点について以下の項目で該当するもののチェックボックスをチェック又はその他にあれば記載すること | |
| ①アクセシビリティの向上 | 利用者の自立支援  　外出時の移動の容易化 |
| ②安全性の強化 | 利用者の転倒や事故の減少  　介護職員の事故の減少 |
| ③サービスの効率性 | スタッフの業務負担軽減  　サービスの提供時間の短縮 |
| ④利用者満足度の向上 | 利用者の自由な移動の確保  　サービス利用可能となるによる生活の質の改善 |
| ⑤その他 | （その他にあれば自由記載） |
| （２）階段昇降機の対象者像と月あたりの利用者数の見積もりを記載すること | |
| 階段昇降機を利用する人はどのような人か | （自由記載） |
| 階段昇降機の利用見込み回数（月あたり） | 回 |

|  |  |
| --- | --- |
| ３　プロジェクトの実行計画 | |
| （１）従業員向けトレーニングについて以下の項目で該当するもののチェックボックスをチェック又はその他にあれば記載すること | |
| ①基本操作トレーニング | 操作方法について実践的な指導を行います |
| ②安全対策教育 | 安全な使用方法、緊急時の対応手順、定期的なメンテナンスの重要性について学びます |
| ③シミュレーション | 実際に機器を使って、階段を昇り降りする等の実践的な練習を行います |
| ④トラブルシューティング | 機器の小さな不具合を自ら解決する方法を学びます |
| ⑤その他 | （その他にあれば自由記載） |
| （２）利用者向け説明について以下の項目で該当するもののチェックボックスをチェック又はその他にあれば記載すること | |
| ①階段昇降機の利点 | 階段昇降機の導入目的と、利用者にとっての利点を説明します |
| ②利用方法のデモンストレーション | 実際に機器を使用する様子を見せ、利用者がどのようにサポートされるかを説明します |
| ③安全上の注意 | 利用者自身に守ってもらう必要のある安全上の注意事項を説明します |
| ④その他 | （その他にあれば自由記載） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ４　事故発生時の対応策 | | |
| （１）事故発生時の対応について以下の項目で該当するもののチェックボックスをチェック又はその他にあれば記載すること | | |
| ①初期対応 | 従業員が事故の第一報を受けた際の対応、例えば安全確保と緊急時の応急処置の手順を明確にします | |
| ②緊急連絡体制の活用 | 事故の重大性に応じて、内部の関係者や緊急サービス（救急車等）に速やかに連絡します | |
| ③事故調査と報告 | 事故の原因を明確にするための調査を行い、関係機関への報告と記録を残します | |
| ④トフォローアップと支援 | 事故に遭われた利用者やその家族へのフォローアップを行い、必要に応じて心理的支援も提供します | |
| ⑤その他 | （その他にあれば自由記載） | |
| （２）事後対応と予防について以下の項目で該当するもののチェックボックスをチェック又はその他にあれば記載すること | | |
| ①原因分析と改善策の実施 | | 事故の根本原因を分析し、再発防止策を策定します |
| ②再教育 | | 事故による教訓を活かし、スタッフ向けに再教育や研修を実施します |
| ③安全管理体制の見直し | | 定期的に安全管理体制を見直し、必要に応じて更新します |
| ④その他 | | （その他にあれば自由記載） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ５　影響評価 | | |
| （１）利用者の利益向上について以下の項目で該当するもののチェックボックスをチェック又はその他にあれば記載すること | | |
| ①移動の自由度 | 車椅子利用者や移動が困難な高齢者が、階段があってもスムーズに外出できるようになり、利用者の活動範囲が広がります | |
| ②安全な移動 | 階段の使用に伴う転倒や滑落のリスクが減少し、高齢者や障害を持つ方々がより安全に施設を利用できます | |
| ③待機時間の短縮 | 従業員が手助けをする時間が減り、利用者の待機時間が短縮し、利用者満足度が向上します | |
| ④その他 | （その他にあれば自由記載） | |
| （２）従業員の作業効率と健康について以下の項目で該当するもののチェックボックスをチェック又はその他にあれば記載すること | | |
| ①作業負担の軽減 | | 車椅子利用者の階段昇降を支援する際の従業員の負担が軽減され、従業員の健康にも寄与します |
| ②サービス提供の効率化 | | 階段昇降機を使用することで、特定の利用者への対応にかかる時間を短縮し、結果として一日あたりのサービス提供量を増やすことができます |
| ③その他 | | （その他にあれば自由記載） |